

◎ 令和 2 年度 南島原市第 2 回補正予算の概要

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、市独自の緊急支援策の追加として、飲食・観光業などを対象としていた事業継続支援金を農業・漁業・商工業などの全業種への拡充に要する経費、農業者や漁業者支援に要する経費、市外に暮らす大学生等を応援する「ふるさと支え愛プロジェクト」に要する経費などを計上いたしました。

① 中小・小規模事業者等事業継続支援に要する経費

9, 0 0 0 万円

② 農林水産業事業継続支援に要する経費

8, 2 5 0 万円

③ 水産業経営支援事業に要する経費

1, 7 8 0 万円

④ 肥育農家体質強化対策事業に要する経費

1, 1 3 8 万 5 千円

⑤ 高収益作物次期作支援事業に要する経費

4 5 0 万円

⑥ 「ふるさと支え愛プロジェクト」に要する経費

4 5 6 万円

その結果、令和 2 年度第 2 回補正予算の総額は、

一般会計 2 億 1, 2 1 6 万 1 千円

で、これを現計予算と合算すると、

一般会計 3 9 4 億 4, 1 7 5 万 2 千円

となります。

これを令和元年度 6 月補正後予算と比較すると、

一般会計 6 1 億 6, 6 8 3 万 5 千円の増

となり、伸び率は、

一般会計 1 8. 5 % の増

となっています。

新型コロナウイルス対策関連経費

一般会計

単位：千円

区分	件数	予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
感染防止	1	1,236	11,400	0	0	0	▲ 10,164
事業継続支援	6	206,365	233,192	0	0	0	▲ 26,827
生活支援	1	4,560	2,700	0	0	0	1,860
合計	8	212,161	247,292	0	0	0	▲ 35,131

(国費については、補正1号の財源組替を含む)

◆感染防止に要する経費 1,236千円

今後の事業実施時における感染予防対策のため、必要備品を購入する。

- ・飛沫対策用：衝立、仕切り板

◆事業継続支援に要する経費 206,365千円

①中小・小規模事業者等事業継続支援金 90,000千円

1号補正では飲食店及び観光事業者(旅館・ホテル・タクシー・観光バス・観光船)を対象としていたが、対象を全業種に拡充する。

〈対象者〉

- ・市内に本社または本店を有する中小企業者又は個人事業主
- ・3～5月分合計売上高が前年同月比で20%以上の減少がある場合

〈支援額〉

- ・法人又は従業員数5人以上の個人事業主：30万円
- ・従業員数5人未満の個人事業主：15万円

②農林水産業事業継続支援金 82,500千円

〈対象者〉

- ・市内住所を有する農業者又は漁業者
- ・3月～7月までの任意の対象月を含む3か月分の合計売上金額が、前年又は前々年同期間比で20%以上の減少がある場合

〈支援額〉

- ・法人又は従業員数5人以上の個人事業主：30万円
- ・従業員数5人未満の個人事業主：15万円

③高収益作物次期作支援交付金事業費補助金 4,500千円

花き栽培農家に対し、次期作に係る資材等の購入に係る費用の補助を行う。
〈支援額〉10a当たり25千円(国：50千円へ上乗せ)

④花き消費拡大対策事業費補助金 180千円

農協が取組む「花卉消費拡大対策」に対し、補助を行う。
・2,000千円(3市要望額)×9%=180千円

⑤肥育農家体質強化対策事業費補助金 11,385千円

肉用牛肥育経営体の経営悪化が危惧されていることから、優良な肥育牛生産など経営体質の強化への取組に対し支援を行う。
〈支援額〉1頭当たり5,5千円(国：20千円、県：11千円へ上乗せ)

⑥水産業経営支援事業補助金 17,800千円

漁業者が市内漁協に水揚げする際の販売手数料の半額を補助する。

◆生活支援に要する経費 4,560千円

①ふるさと支え愛プロジェクト事業 4,560千円

新型コロナウイルスの影響で生活が一変した、市外在住の学生に対して、市特産品などの商品を届けることで「ふるさと」との繋がりを再確認してもらい、学生の不安な気持ちを和らげ、安心した学生生活を送ってもらうための支援を行う。
〈対象者〉18～30歳までの大学生等(約1,200人)